

第42回

中央区政

世論調査

概要版

平成24年6月実施

CHUO CITY

【調査の項目】

- | | |
|-----------|--------------|
| (1) 定住性 | (6) 防犯対策 |
| (2) 防災対策 | (7) スポーツ |
| (3) 高齢者対策 | (8) 住宅施策 |
| (4) 子育て支援 | (9) 施策の要望・評価 |
| (5) 区政情報 | |

【調査対象】中央区に居住する満20歳以上の男女個人

【対象者】2,000人

【抽出方法】無作為抽出法

平成24年4月30日現在の住民基本台帳に登録された満20歳以上の男女105,102人より一定の割合で系統的に抽出

【調査方法】郵送法（郵送配布 - 郵送回収）

【調査時期】平成24年6月1日（金）～6月15日（金）

【調査機関】株式会社エスピー一研

【回収結果】回収数 1,123 回収率 56.2%

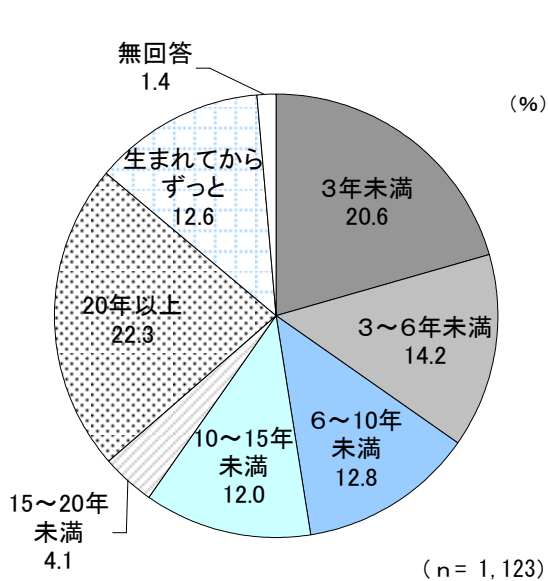


1 定住性

■ 居住年数

『長期居住者』（「20年以上」と「生まれてからずっと」の合計）は34.9%、『短期居住者』（「3年未満」と「3～6年未満」の合計）は34.8%でともに3割台半ばである。

過去の調査結果と比較すると、昨年は『長期居住者』が減少し、『短期居住者』が増加していたが、今年の調査結果では『長期居住者』が増加し、『短期居住者』が減少している。

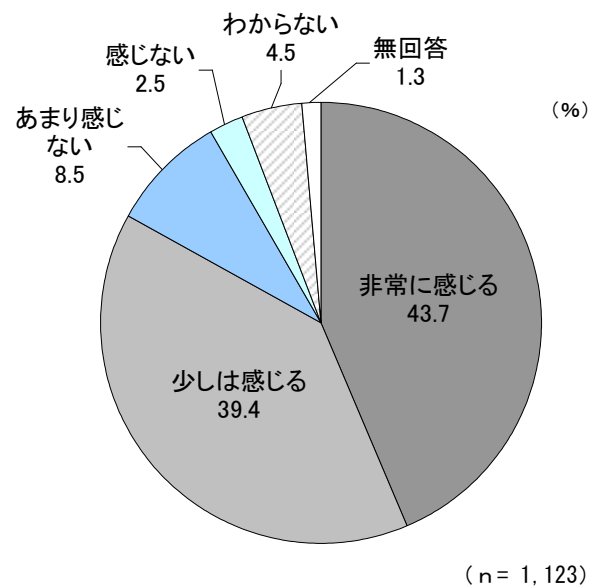


■ 愛着心

『感じる』（「非常に感じる」と「少しは感じる」の合計）は83.1%で8割台半ばである。

一方、『感じない』（「あまり感じない」と「感じない」の合計）は11.0%にとどまっている。

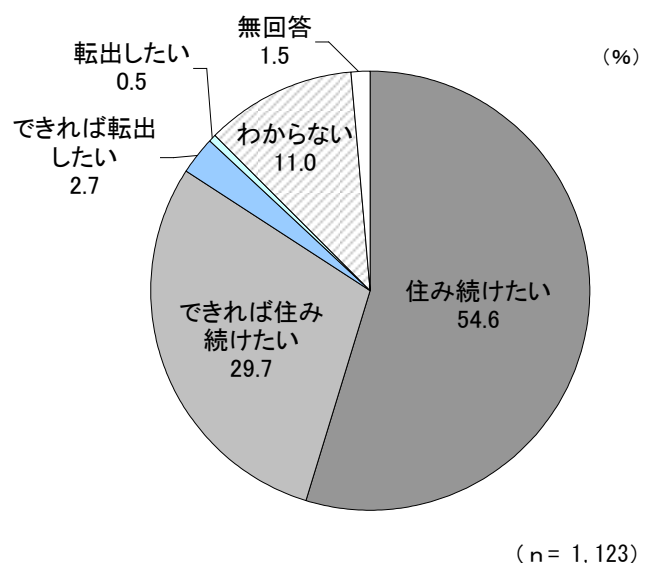
過去の調査結果と比較すると、「非常に感じる」は平成22年まで増加傾向にあったが、昨年からは減少に転じ、今年の調査でも1.2ポイント減少している。



■ 定住意向

『定住意向』（「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合計）は84.3%で8割台半ばである。一方、『転出意向』（「できれば転出したい」と「転出したい」の合計）は3.2%にとどまっている。

過去の調査結果と比較すると、『定住意向』は平成12年から増加傾向にあったが、昨年の調査から減少に転じ、今年の調査でも横ばいで推移している。

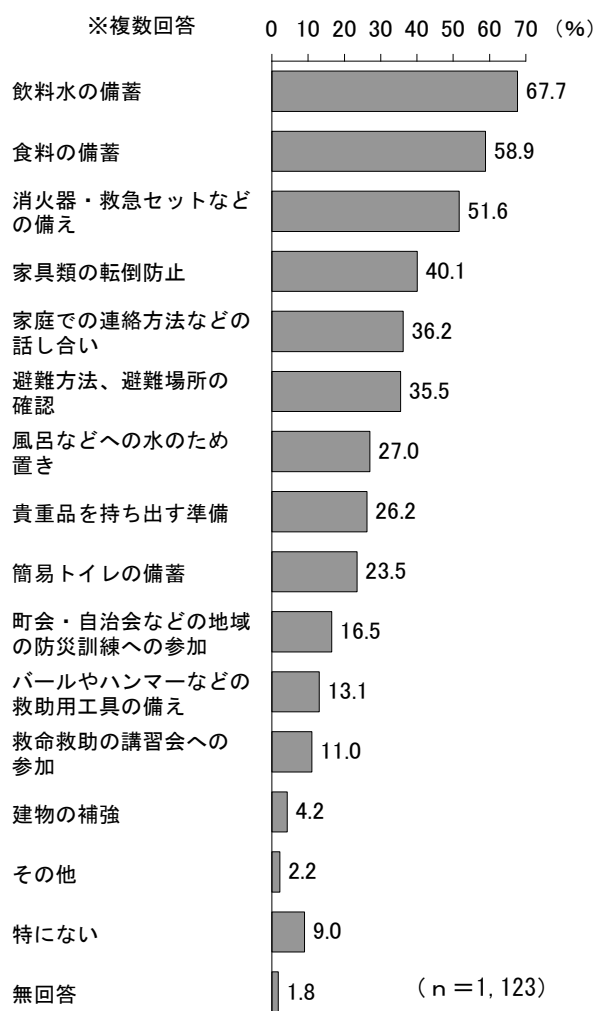


2 防災対策

■家庭での災害に対する備え

「飲料水の備蓄」(67.7%)が約7割で最も高く、以下、「食料の備蓄」(58.9%)、「消火器・救急セットなどの備え」(51.6%)、「家具類の転倒防止」(40.1%)などが続いている。

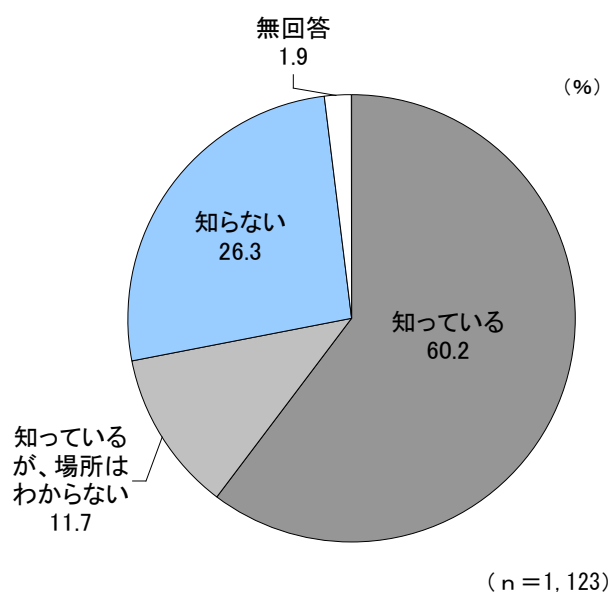
昨年の調査結果と比較すると、「消火器・救急セットなどの備え」は12.1ポイント、「食糧の備蓄」は7.9ポイント、「避難方法、避難場所の確認」と「町会・自治会などの地域の防災訓練への参加」はともに5.0ポイント、それぞれ増加している。



■防災拠点の認知度

「知っている」は60.2%で6割である。一方、「知らない」は26.3%である。

過去の調査結果と比較すると、「知っている」は昨年の調査結果より5.0ポイント増加し、「知らない」が平成21年以降は減少傾向となっている。

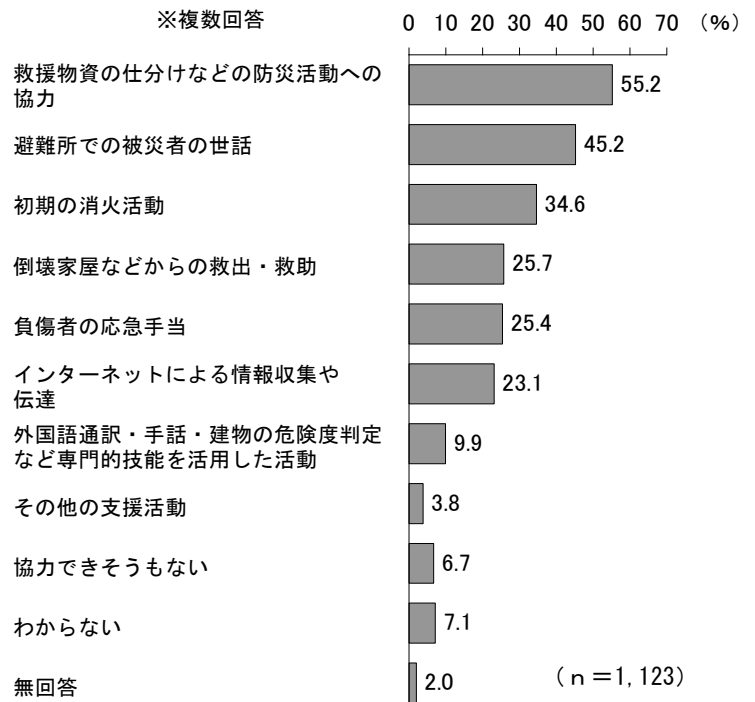


■災害時に協力できる活動

「救援物資の仕分けなどの防災活動への協力」(55.2%)が5割台半ばで最も高く、以下、「避難所での被災者の世話」(45.2%)、「初期の消火活動」(34.6%)などが続いている。

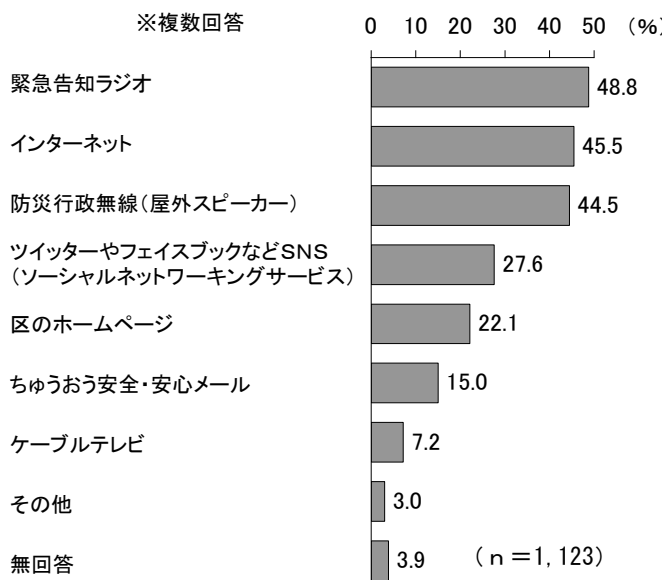
一方、「協力できそうもない」が6.7%となっている。

過去の調査結果と比較すると、昨年の調査までは「インターネットによる情報収集や伝達」や「避難所での被災者の世話」で平成20年以降、増加傾向がみられたが、今年の調査では減少に転じている。



■災害情報を得る手段として有効だと思うもの

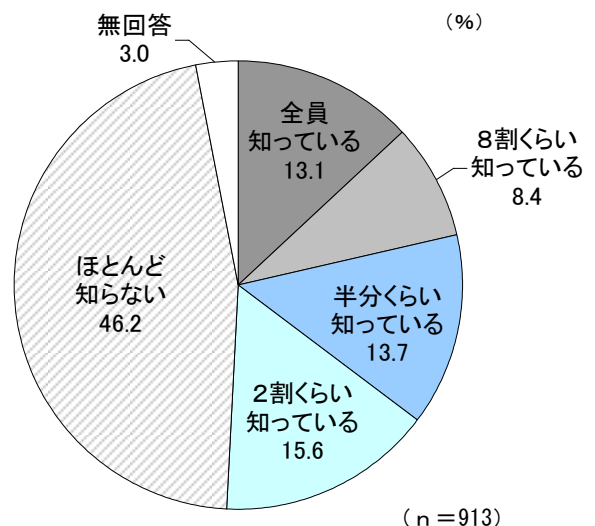
「緊急告知ラジオ」(48.8%)が約5割と最も高く、以下、「インターネット」(45.5%)、「防災行政無線(屋外スピーカー)」(44.5%)、「ツイッターやフェイスブックなどSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)」(27.6%)などが続いている。



■集合住宅の近隣づきあい

「ほとんど知らない」(46.2%)が4割台半ばと最も高くなっている。一方、知っている人の中では「2割くらい知っている」(15.6%)が1割台半ばと最も高く、以下、「半分くらい知っている」(13.7%)「全員知っている」(13.1%)、「8割くらい知っている」(8.4%)となっている。

昨年の調査結果と比較すると、「ほとんど知らない」は2.1ポイント減少し、「半分くらい知っている」は1.1ポイント、「2割くらい知っている」は1.0ポイントそれぞれ増加している。

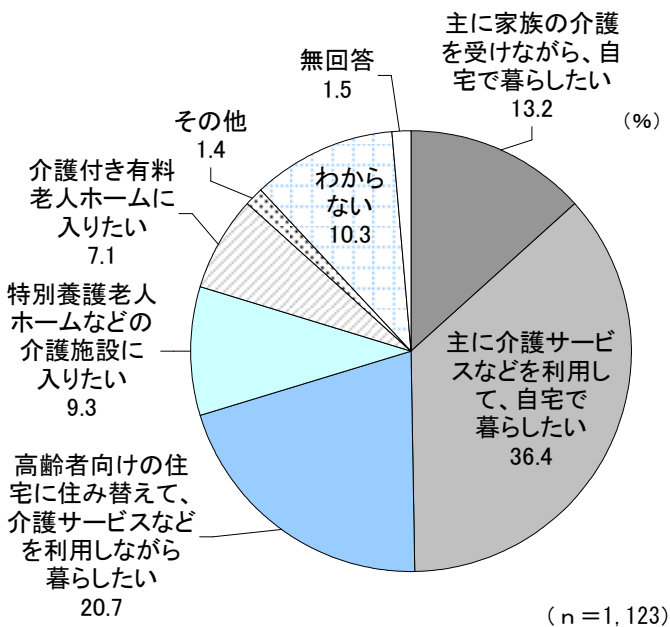


3 高齢者対策

■要介護時における暮らし方

『自宅で暮らしたい』（「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」と「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」の合計）は49.6%で約5割である。

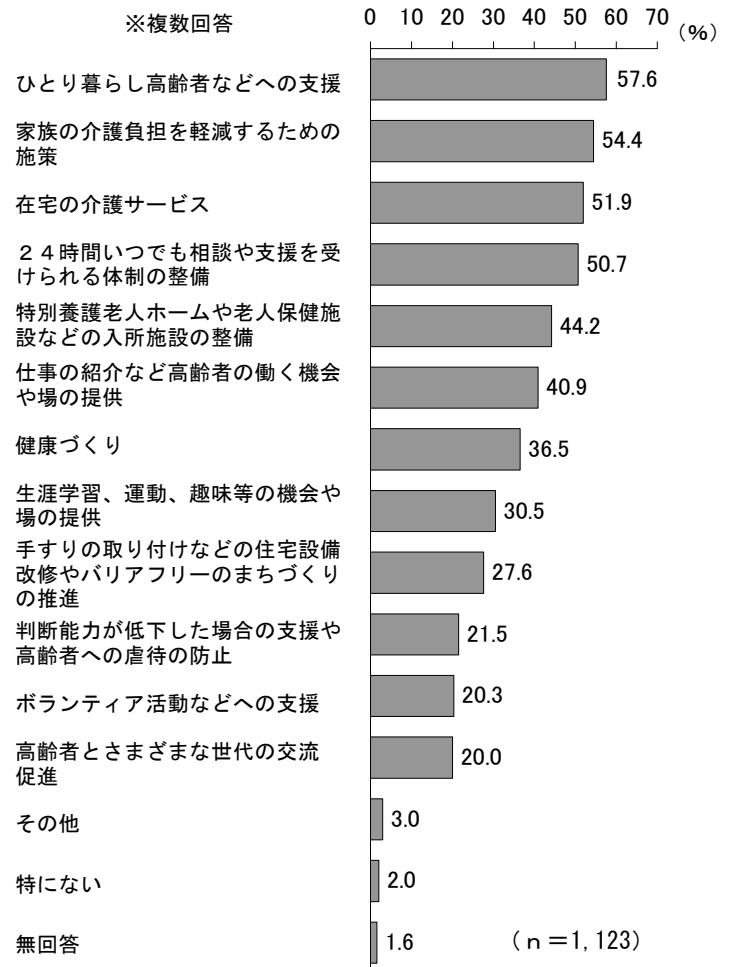
過去の調査結果と比較すると、「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」は平成22年以降増加傾向となっている。



■区に望む高齢者保健福祉サービス

「ひとり暮らし高齢者などへの支援」（57.6%）が約6割で最も高く、以下、「家族の介護負担を軽減するための施策」（54.4%）、「在宅の介護サービス（ホームヘルプサービスなどの介護保険サービスや配食サービスなどの区の独自サービス）」（51.9%）、「24時間いつでも相談や支援を受けられる体制の整備（ホームヘルプサービス、あんしんコールなど）」（50.7%）などが続いている。

昨年の調査結果と比較すると、「家族の介護負担を軽減するための施策」は4.1ポイント、「ひとり暮らし高齢者などへの支援（安心して居宅で生活するための見守りや緊急時の支援）」は3.0ポイント、それぞれ減少している。

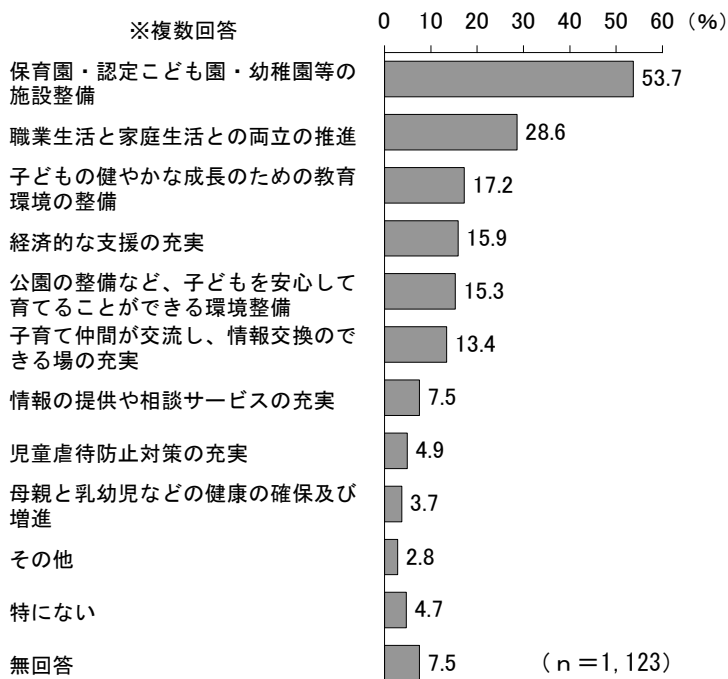


4 子育て支援

■ 区に望む子育て支援策

「保育園・認定こども園・幼稚園等の施設整備」(53.7%)が5割台半ばと最も高く、以下、「職業生活と家庭生活との両立の推進」(28.6%)、「子どもの健やかな成長のための教育環境の整備」(17.2%)などが続いている。

昨年との調査結果と比較すると、「子育て仲間が交流し、情報交換のできる場の充実」は2.6ポイント増加している。一方、「子どもの健やかな成長のための教育環境の整備」は2.5ポイント減少している。

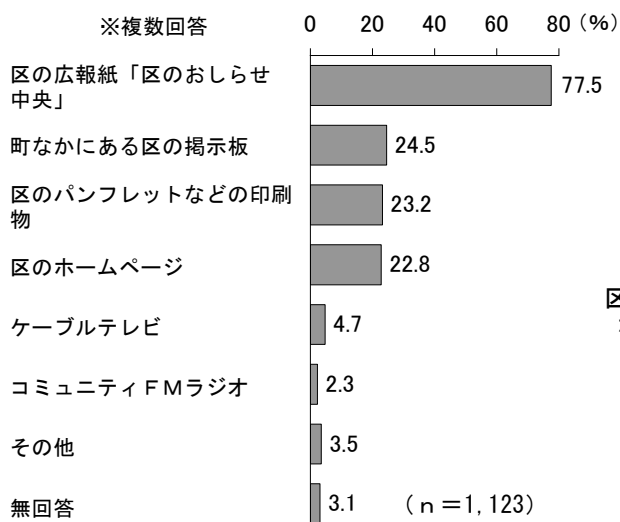


5 区政情報

■ 区政情報の入手方法

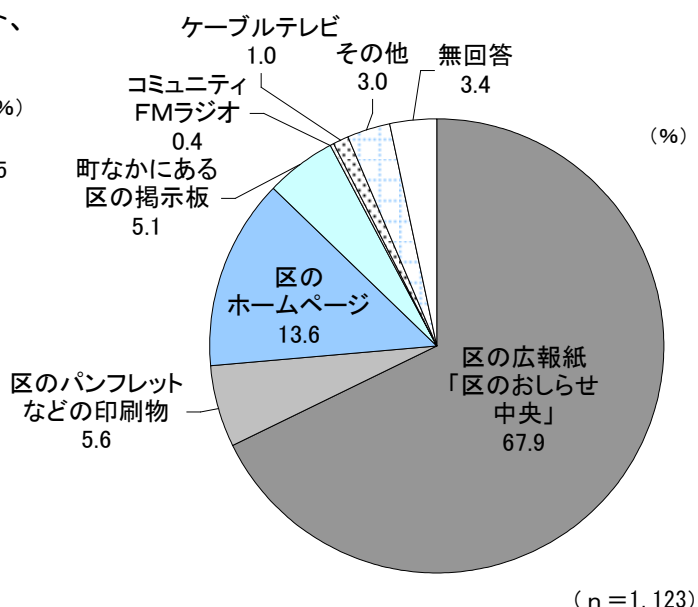
「区の広報紙「区のおしらせ 中央」」(77.5%)が約8割と最も高く、以下、「町なかにある区の掲示板」(24.5%)、「区のパンフレットなどの印刷物」(23.2%)、「区のホームページ」(22.8%)などが続いている。

平成20年の調査結果と比較すると、「町なかにある区の掲示板」は4.9ポイント減少している。一方、「区のホームページ」は2.5ポイント増加している。



■ 今後希望する区政情報の入手方法

「区の広報紙「区のおしらせ 中央」」(67.9%)が約7割と最も高く、以下、「区のホームページ」(13.6%)、「町のパンフレットなどの印刷物」(5.6%)、「町なかにある区の掲示板」(5.1%)などが続いている。



6 防犯対策

■不安に感じる犯罪

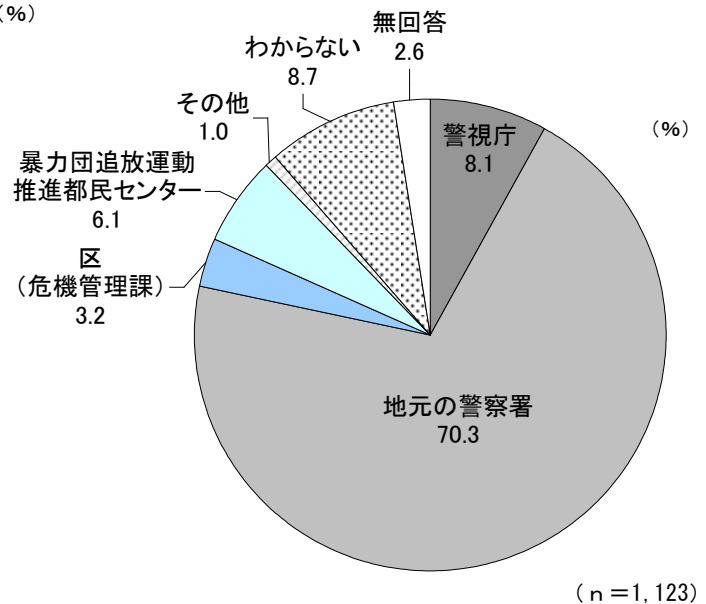
「空き巣」(41.7%)が4割を超え最も高く、以下、「ひったくり」(21.5%)、「自動車(自転車)泥棒・車上ねらい」(21.1%)、「放火」(17.8%)「強盗」(16.9%)などが続いている。

過去の調査結果と比較すると、「傷害・暴行」は昨年の調査結果より4.9ポイント増加している。



■暴力団等で困りごとがあった場合の相談先

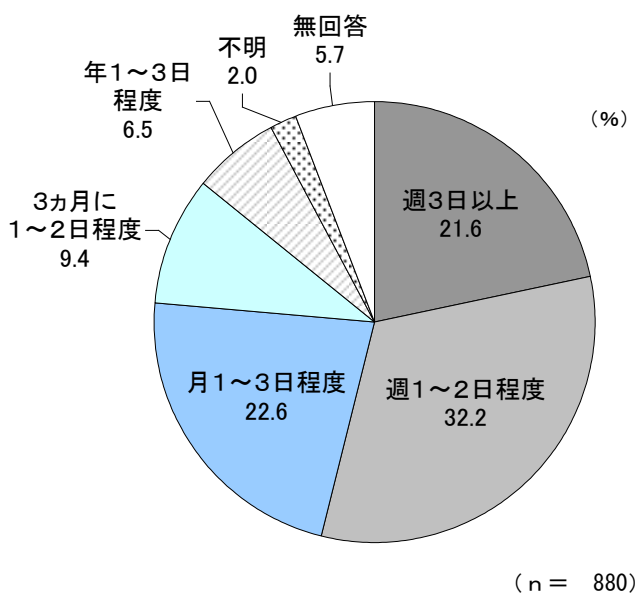
「地元の警察署」(70.3%)が7割と最も高く、以下、「警視庁」(8.1%)、「暴力団追放運動推進都民センター」(6.1%)「区(危機管理課)」(3.2%)などが続いている。



7 スポーツ

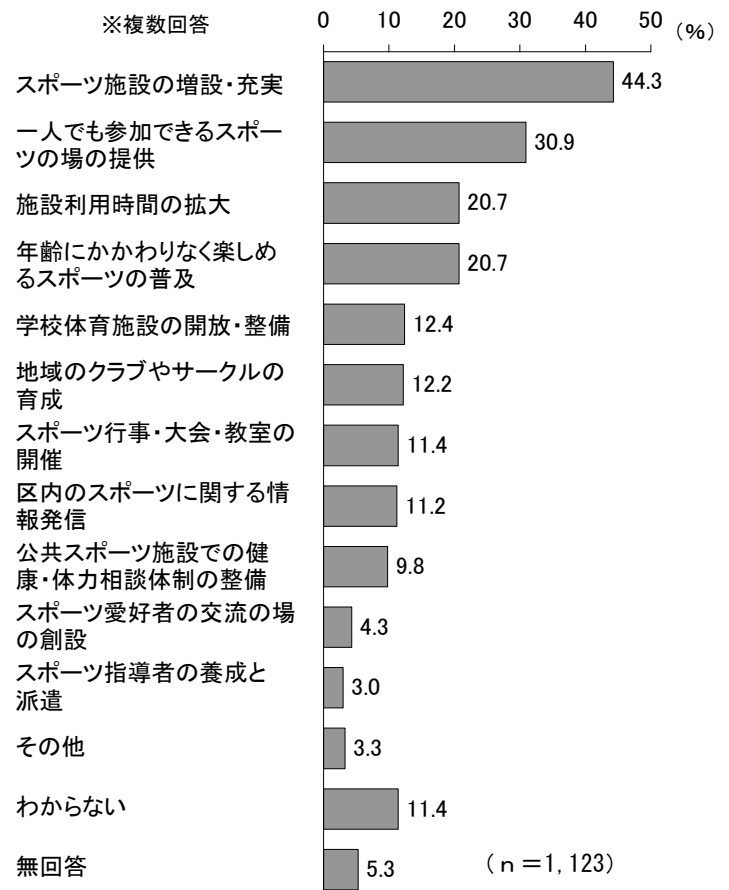
■ 過去一年間に行ったスポーツや運動の頻度

「週1～2日程度」(32.2%)が3割を超え最も高く、以下、「月1～3日程度」(22.6%)、「週3日以上」(21.6%)、「3カ月に1～2日程度」(9.4%)などが続いている。



■ スポーツへの参加機会を増やすために区に望むこと

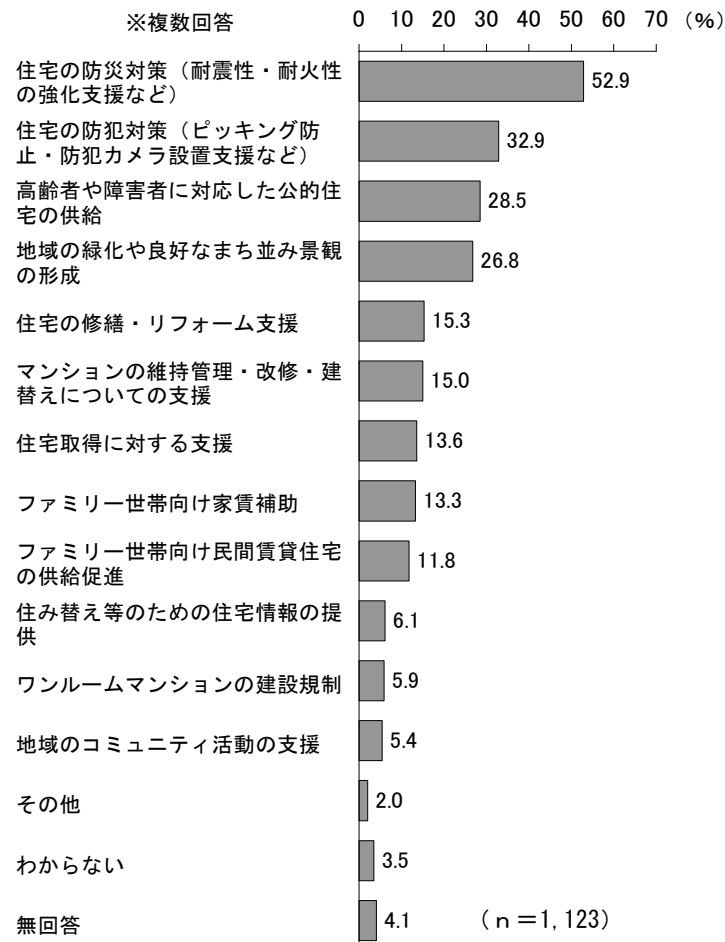
「スポーツ施設の増設・充実」(44.3%)が4割台半ばと高く、以下、「一人でも参加できるスポーツの場の提供」(30.9%)、「施設利用時間の拡大」(20.7%)、「年齢にかかわらず楽しめるスポーツの普及」(ともに20.7%)、「学校体育施設の開放・整備」(12.4%)などが続いている。



8 住宅施策

■ 区に望む住宅施策

「住宅の防災対策（耐震性・耐火性の強化支援など）」（52.9%）が5割を超え最も高く、以下、「住宅の防犯対策（ピッキング防止・防犯カメラ設置支援など）」（32.9%）、「高齢者や障害者に対応した公的住宅の供給」（28.5%）、「地域の緑化や良好なまち並み景観の形成」（26.8%）などが続いている。

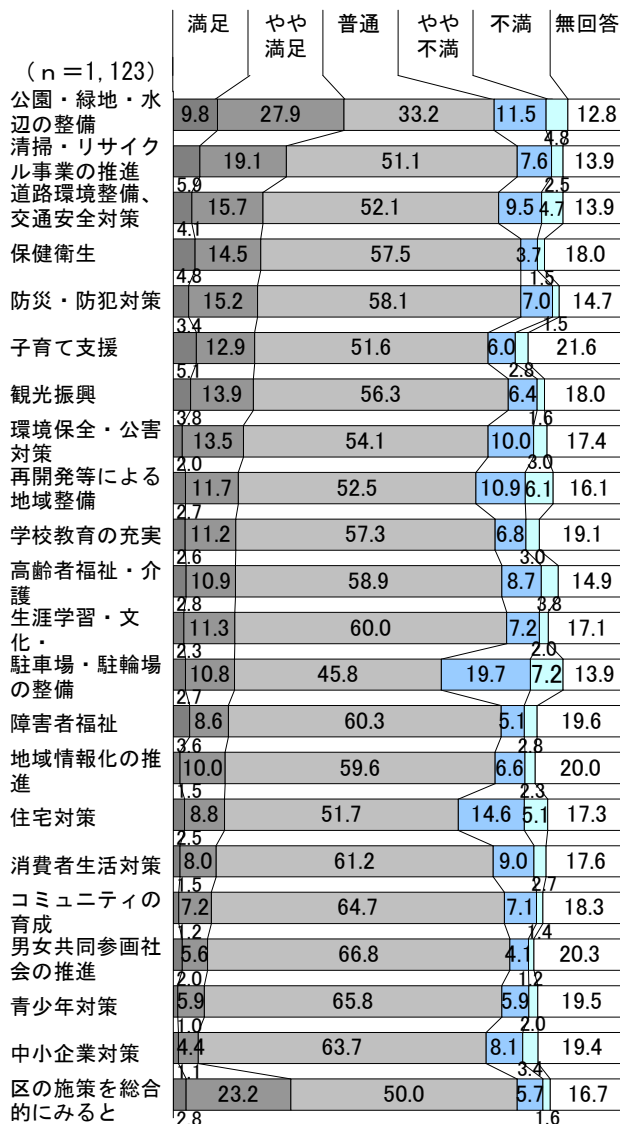


9 施策の要望・評価

■ 区の施策の満足度

「満足」と「やや満足」の合計を『満足』とし、「やや不満」と「不満」の合計を『不満足』とした場合の、それぞれの上位5項目は次のようになっている。

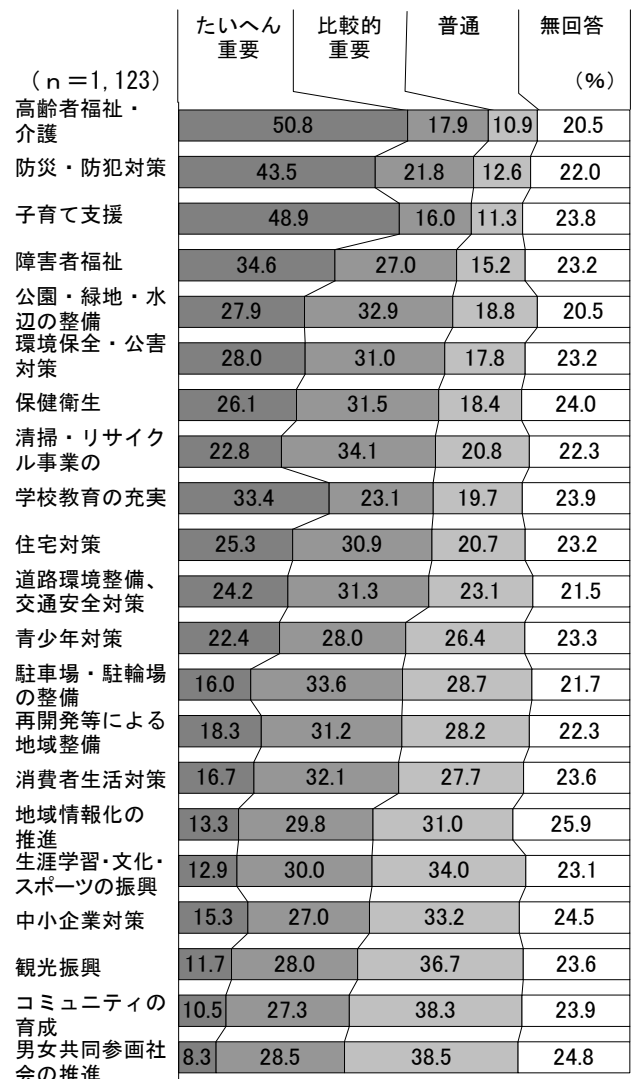
- 『満足』 ①公園・緑地・水辺の整備 (37.7%)
 ②清掃・リサイクル事業の推進 (25.0%)
 ③道路環境整備、交通安全対策 (19.8%)
 ④保健衛生 (19.3%)
 ⑤防災・防犯対策 (18.6%)
- 『不満足』 ①駐車場・駐輪場の整備 (26.9%)
 ②住宅対策 (19.7%)
 ③再開発等による地域整備 (17.0%)
 ④公園・緑地・水辺の整備 (16.3%)
 ⑤道路環境整備、交通安全対策 (14.2%)



■ 区の施策の重要度

「たいへん重要」と「比較的重要」の合計を『重要』とした場合の、上位5項目と下位5項目は次のようになっている。

- 上位 ①高齢者福祉・介護 (68.7%)
 ②防災・防犯対策 (65.3%)
 ③子育て支援 (64.9%)
 ④障害者福祉 (61.6%)
 ⑤公園・緑地・水辺の整備 (60.8%)
- 下位 ①男女共同参画社会の推進 (36.8%)
 ②コミュニティの育成 (37.8%)
 ②観光振興 (39.7%)
 ④中小企業対策 (42.3%)
 ⑤生涯学習・文化・スポーツの振興 (42.9%)



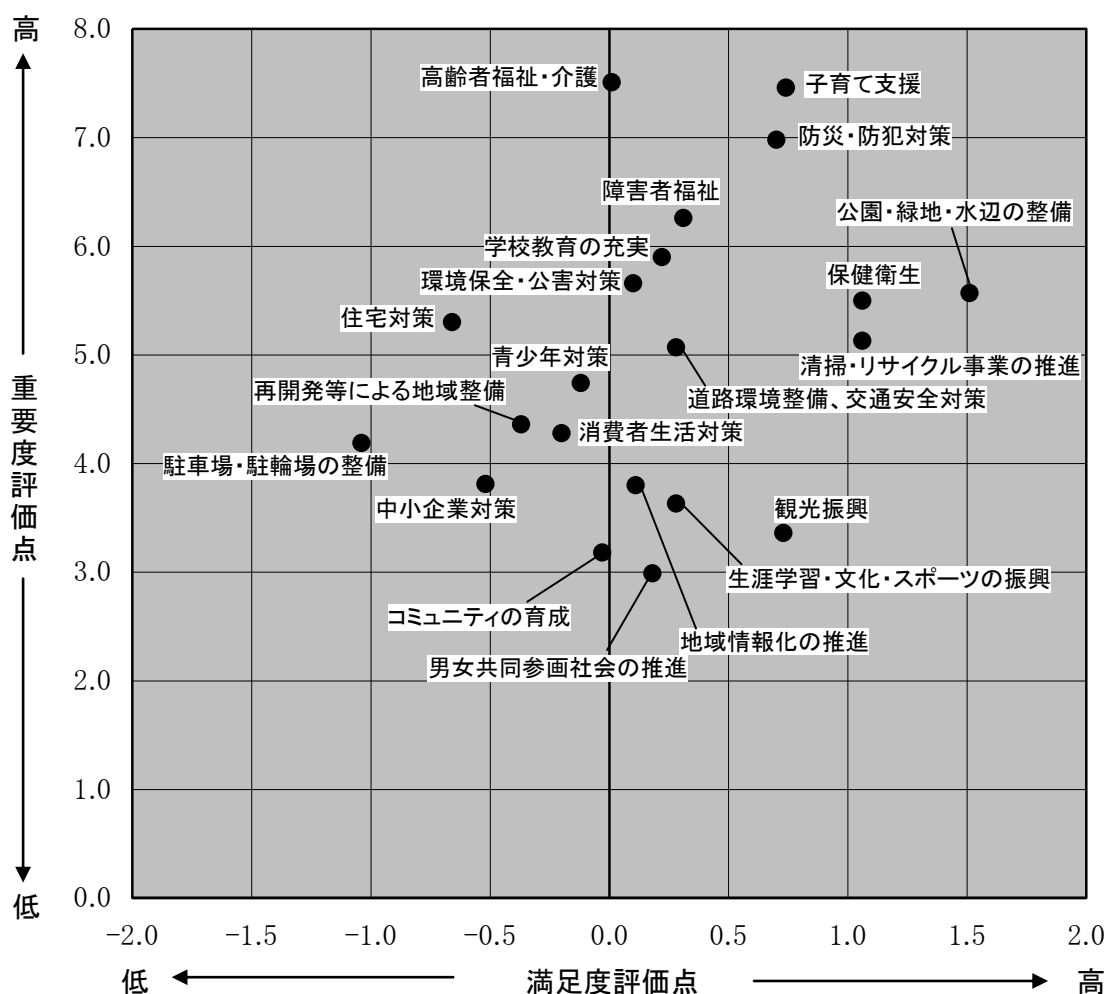
■ 区の施策の満足度と重要度の相関

次の図表は、加重平均値による満足度評価と重要度評価を相関させた散布図である。横軸が満足度評価点、縦軸が重要度評価点になっている。それぞれの算出方法は以下の通りである。

$$\begin{aligned} \text{満足度評価点} &= (\text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \\ &\quad \times 0 \text{点} + \text{「やや不満」の回答者数} \times \blacktriangle 5 \text{点} + \text{「不満」の回答者数} \times \blacktriangle 10 \text{点}) \\ &\quad \div (\text{回答者数} - \text{無回答者数}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{重要度評価点} &= (\text{「たいへん重要」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「比較的重要」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の} \\ &\quad \text{回答者数} \times 0 \text{点}) \div (\text{回答者数} - \text{無回答者数}) \end{aligned}$$

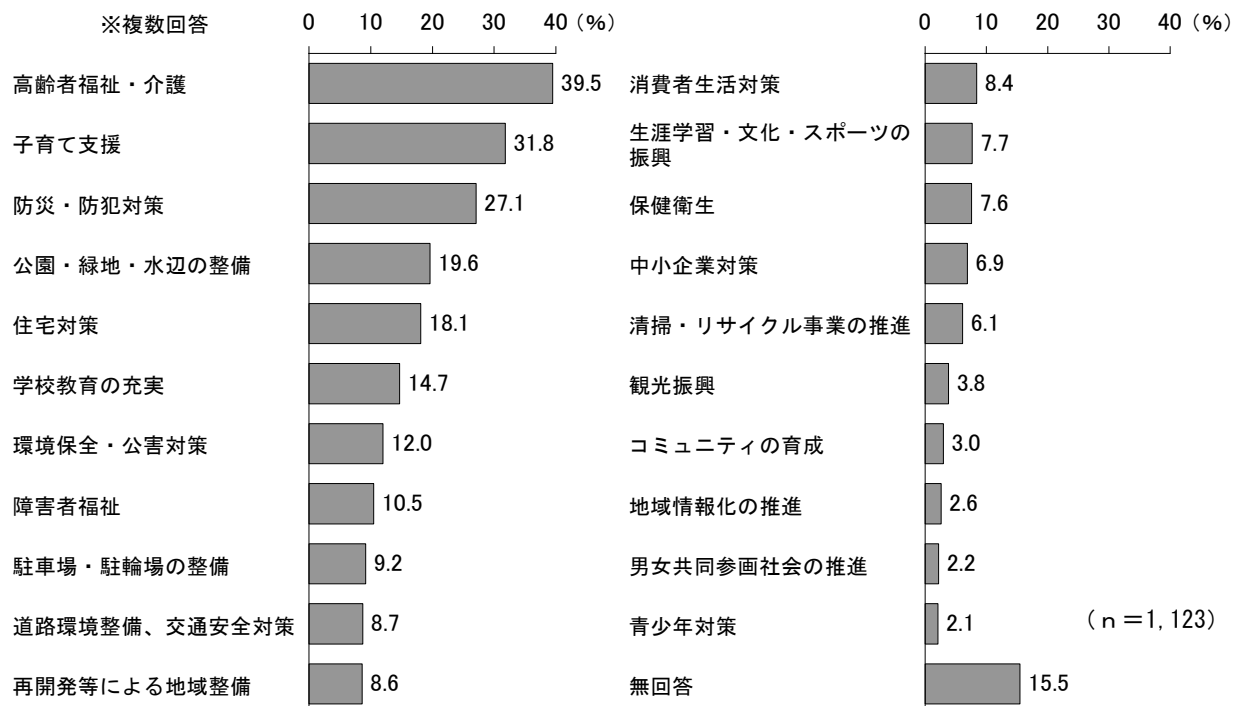
このグラフでは、満足度評価が低く、重要度評価が高い領域（左上方）にある項目が比較的居民ニーズが高いもので、今後の行政課題となるものと考えられる。



■ 区の施策への要望

「高齢者福祉・介護」（39.5%）が約4割で最も高く、以下、「子育て支援」（31.8%）、「防災・防犯対策」（27.1%）などが続いている。

昨年の調査結果と比較すると、「防災・防犯対策」は 5.4 ポイント増加している。



第42回 中央区政世論調査

平成24年9月

発行 中央区企画部広報課
中央区築地1丁目1番1号
03(3546)5222(直通)

実施 株式会社エスピー研
千代田区飯田橋3丁目11番20号
03(3239)0071

刊行物登録番号
24-049